



平成 20 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社共同紙販ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 郡司 勝美
(J A S D A Q ・ コード番号 9 8 4 9)
問合せ先 取締役管理企画本部長 尾形 寛雄
T E L 03-5548-7521

中期経営計画（平成 20 年度～平成 22 年度）の策定について

当社グループは、このほど平成 20 年度を初年度とした中期経営計画を下記のとおり策定しましたので、お知らせ致します。

記

当社は、本年 4 月 1 日に(旧)河内屋紙株式会社と(旧)はが紙販株式会社との経営統合を行い、当社を中心に販売子会社の(新)河内屋紙株式会社および(新)はが紙販株式会社と、物流子会社の関東流通株式会社を中核とするグループ体制をスタートさせて、早期に統合効果を上げる運営に努めてまいりました。

一方、当社グループの今後の課題は、環境変化に備え経済変動に耐え得る安定した経営基盤構築にあると考え、この程平成 20 年度から平成 22 年度を計画期間とする中期経営計画を策定致しました。

本中期経営計画策定の考え方と進め方および経営数値目標は次のとおりであります。

1. 中期経営計画策定の考え方

- ① 売上の目標は、次の諸施策により売上高の増加と粗利益率向上を目指します。
 - a) 商品の販売構成を再点検し、卸商の得意分野である小ロット・短納期販売に適した商品の販売。
 - b) 主要顧客との関係をより強固にし、緊密な情報交換により適切な商品の紹介・販売。
- ② 販売費や一般管理費等のコストは、拠点倉庫の利用方法を再点検すること等経営統合の効果を最大限織り込んだ削減を目指します。
- ③ 業容の拡大した当社グループの新しい経営指標として、売上高経常利益率 1% 以上有利子負債 20 億円以下を目標とします。

2. 中期経営計画の進め方

計画達成のために、平成20年度と平成21年度を「基盤整備期」、平成22年度を「基盤確立期」として、目標値を定めます。

3. 経営数値目標

	基 盤 整 備 期		基盤確立期
	(平成20年度)	(平成21年度)	(平成22年度)
売上高	億円 250.0	億円 260.0	億円 265.0
営業利益	億円 2.6	億円 3.2	億円 4.1
経常利益	億円 2.0	億円 2.6	億円 3.6
当期純利益	億円 1.8	億円 2.6	億円 3.6
経常利益率	% 0.8	% 1.0	% 1.4
有利子負債			億円 20 以下

以 上